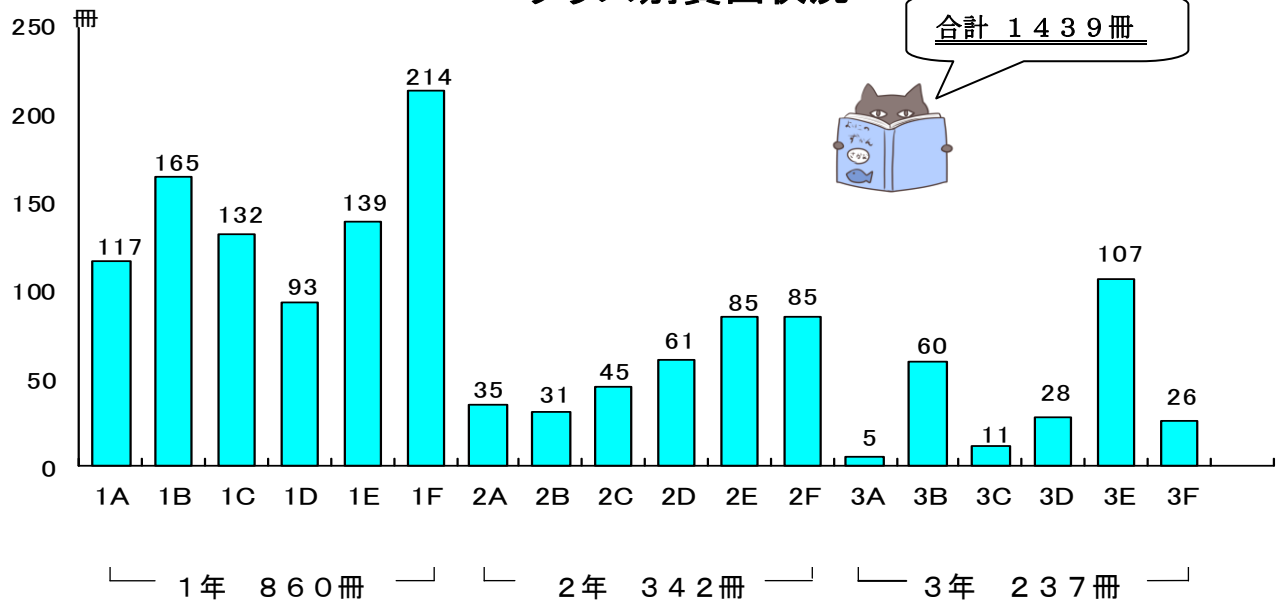




## 1学期の図書館利用状況 (4月1日～8月20日)

### クラス別貸出状況



### 個人別貸出ランキング

1位	3B	N. S	52冊
2位	1C	K. H	30冊
3位	1E	S. S	24冊
4位	1C	K. H	21冊
5位	3E	S. R	19冊
"	2F	S. M	19冊
7位	1B	S. K	16冊
8位	2D	S. M	14冊
9位	3E	O. M	13冊
"	2E	M. K	13冊

1年生の貸出が多く、2年連続貸出数トップの長門さんを追い抜く勢いです。1年生が借りている本はライトノベルが多かったです。よく読まれている本の1位は、体内のはたらきが学べる漫画『はたらく細胞』（←旧職員の高田典雅先生オススメ！）。7月行われた第1回ビブリアバトルのチャンプ本『グラスホッパー』も人気です。

夏休み前に本を借りた人は、返却予定日(8/21)が

過ぎていきますので返しましょう！

返却はカウンターの上に本を置くだけでOK！

面倒な手続きはありません。

### よく読まれている本

1位	はたらく細胞 (清水茜)
2位	十二人の死にたい子どもたち (沖方丁)
3位	グラスホッパー (伊坂幸太郎)
	いなくなれ、群青 (河野裕)
	平成くん、さようなら (古市憲寿)
	三日間の幸福 (三秋縉) 他多数

**第2回ビブリアバトル** が開催されます！

**9月24日(火) 15:45～ 図書館にて**

**バトル(発表者)、観戦者とも絶賛募集中！**



## 県立図書館のセット貸出図書より

### 今ノンフィクションがおもしろい

ノンフィクションとは、小説など虚構の世界を描いた空想・架空の物語ではなく、伝記・ルポルタージュ・歴史・旅行記など事実に基づいたものと言います。県立図書館から、今注目のノンフィクション作品40冊が届きました。

『箱根0区を駆ける者たち』『聴導犬のなみだ』『カレーライスを一から作る』『チア☆ダン』など。

人間の想像力を超えた、事実だからこそ心に迫る魅力に触れてみてください。



### 高校生のための文化講演会（三宮麻由子さん『響き合う毎日』）を終えて



9月5日、1年生を対象に一ツ橋文芸教育振興会・秋田魁新聞社主催の「高校生のための文化講演会」が行われました。

講師はエッセイストの三宮麻由子さんは、視力を失いながらも、耳を澄ませて感性を磨き、好奇心旺盛に生きてきたご自身の経験を大切さを語ってくださいました。

講演会を終えて、主催者の一ツ橋文芸教育振興会より集英社文庫100冊と三宮さんのサイン入りの著書3冊が寄贈されました。三宮さんの著書と寄贈された集英社文庫はカウンター前に並べてあります。寄贈図書100冊のリストは図書館前に掲示しています。

## 夏休みの図書委員会活動

### ◎星空図書館ボランティア参加（7月27日）



栗盛記念図書館で行われた「星空図書館」に参加しました。子どもたちが星座早見盤を作るのをサポートし、一緒にプラネタリウムで星空を観察しました。また、星や宇宙にまつわる絵本の読み聞かせをしました。

### ◎県立図書館の研修会参加（8月2日）



### ◎全県読み聞かせボランティア交流会参加（8月25日）



秋田県内で読み聞かせの活動を行っている団体の交流会に、桂桜生2名、国情生1名が参加しました。「高校生の読み聞かせ会」について事例発表し、大型絵本を含む2冊の絵本の読み聞かせを披露しました。

県立図書館の研修会に図書委員2名が参加しました。館内を案内していただき、書庫では明治時代の秋田魁新報など貴重な資料も見せていただきました。秋田出身の探検家・作家の高橋大輔さんによる「本と旅のあいだ」と題した講演を聞き、その後交流会では各校の活動を紹介し合いました。